

# 全県例会のご案内

2020年10月28日(水)18:00~21:00

会場 ホテルテラスガーデン水戸

報告者 永岡 誠司さん (有)エターナルコーポレーション 代表取締役



## SPEED & VISUAL 市場の本質を捉えろ!! ~ 自社事業の理解が活路を創る ~

※会場参加は定員制限致します。  
ご希望の方はお早めにお申し込みください!!

ゲスト参加大歓迎!

## 8月度新入会員のご紹介



日立支部

佐藤 雄太さん

佐藤雄太行政書士事務所  
所長

どうぞよろしくお願ひします!!

会員は辞書の  
1ページ!



茨城同友会会員数

307名



9月8日理事会時点

支部	日立支部	県央海浜支部	水戸支部	南西支部	県西支部	ドラゴン支部
会員数	40	27	117	65	28	30

No.291号 2020年9月30日

# DOYU IBARAKI



発行:茨城県中小企業家同友会  
〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館3階  
Tel:029-243-8230  
Fax:029-243-7225  
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

## 第20期経営指針を創る会発表会

第20期経営指針を創る会の発表会が8月22日に水戸京成ホテルで開催されました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、延期となっていた発表会ですが、感染症対策をしっかりと行った上で待ちに待った開催となりました。8名の受講生が、約1年半をかけて創り上げた経営指針書を、想いを込めて発表しました。コロナ禍にあって、劇的な外部環境の変化の中で多くの経営判断を迫られ、また当初創り上げた方針や計画を見直す必要性もあり、本当に大変な中での指針創りになりました。しかし、受講生同士が叱咤激励しながら常に前向きに行動し、この日を迎えたこともあり、涙あり、笑あり、同期の絆を感じる素晴らしい発表会となりました。コロナ危機の中でどう自社を経営していくか、悩み葛藤する経営者の方も沢山いると思います。こんな状況だからこそ、改めて経営指針を創り、自社の方向性を定めることの大切さを今回の経営指針の発表会から学ぶことが出来ました。当日は、第21期経営指針を創る会の説明会も開催され、遅れていた次期の経営指針を創る会も動き出しました。第21期は10月から開催予定です。自社の方向性に迷われている方は、ぜひ「経営指針を創る会」で一緒に学び合ひましょう。



## 2019年度幹部社員研修会成果発表会

コロナ禍で延期となっていた2019年度の幹部社員研修成果発表会が8月21日に水戸京成ホテルで開催されました。昨年5月のつくばでの宿泊研修からスタートし、幹部の役割とは何か?自分の課題・自社の課題とは何か?経営理念を新入社員にどう伝えるかなど、各講義で出される課題に経営者と共に向きあい、一緒に学ぶ同期と切磋琢磨しながら、自社の課題解決のための計画を策定し、実践して来ました。本来であれば、3月に発表会を迎え、実践の成果を発表する予定でしたがコロナの感染拡大を受け、約半年発表が伸び、外部環境の変化の中で実務をこなしながらの実践期間となりました。劇的な業務環境の変化の中にあっても前向きに実践して来た受講生は、この期間を振り返りながら自らの言葉で実践した内容と結果、そしてこれからの展望を力強く発表しました。経営者からの言葉に笑顔で応える人、涙がにじむ人、それぞれの想いが伝わる発表会となりました。



# 8月例会報告

## 日立支部

8月5日(水) 日立シビックセンターにて・zoom同時配信  
 報告者:内山庄栄さん (有)内山味噌店 代表取締役  
 『事業定義と業態付加～進撃の巨人 これからの経営を語る』



日立支部8月例会は、有限会社内山味噌店の内山社長を報告者に迎え『事業定義』をテーマに報告いただきました。なぜこのテーマなのかというと会社を維持・発展してゆくためには、刻々と変化してゆく市場を捉え、または創造していかなければなりません。そのためには自社の在り方を変化に合わせ最適化してゆくことが肝要です。内山社長は自社の事業を単なる『味噌製造業』から『発酵食品サービス業』と捉え直すことで新規事業を形にしてきました。(もちろん上手くいったことばかりではありません)みなさんは自分の事業をどのように定義していますか?既存の事業の枠にとらわれすぎず、流されず、自社の事業定義を改めて考えてみると新しい発見があるかもしれません。

(レポート:菊池 剛さん)

## 水戸支部

8月27日(木) 茨城県総合福祉会館にて・zoom同時配信  
 報告者:芳賀宗彦さん トータルWEBコンサルティング(同)  
 『明日から始めるWEB集客～WEBを活用した集客の方法とは～』



コロナ渦中、会員の皆様に少しでも役立つ何かを持ち帰って頂きたい。そんな想いでトータルWEBコンサルティング合同会社の芳賀さんに「明日から始めるWEB集客」というテーマでご報告頂きました。この不測の非常時をむしろチャンスと捉え、無料でできるGoogleを使ったサービスやSNSの活用ヒントなどをお話し頂き、どんな業種の方にもご活用頂ける内容だったかと思います。特に昨今のSNSでの集客事情は当たり前のようになっていますが、会員の皆様はどうだったでしょうか?無料で活用できるサービスでありながら、アカウントを持っているながら、なかなかしっかりと活用・集客・売上確保まで繋がっている方はそう多くはないのではないのでしょうか?また、同友会においてもzoom配信を活用していますが、zoomをしっかりと活用できている会員さんがどれくらいいるのでしょうか?コロナが時代をこの半年で大きく変え、SNSやWEBツールは、もはや『今最もやらなくてはいけない最優先事業』と言っても過言ではないと思います。SNSやWEBツールを「若い人のものだから」と決めつけず、この時代を乗り切る為、必ず取り入れなければならないものという認識を持って頂ければ幸いです。

江戸から明治に時代が変わった時、侍が刀や鬘を捨て、洋服や靴を取り入れ出したように、私たちが時代を合わせたツールを積極的に取り入れなければならない時だと思えます。例会に参加された方はもちろん、これを読んで頂いた方も、是非SNSやWEBツールを使った戦略を明日から始めてみてください。

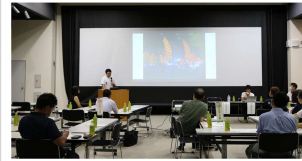
とにかく一回やってみる。失敗しても無料ツールですから、また作り直せばいいんです。

同友会の会員の皆様が時代の先駆者になる。それも会員増強のきっかけに繋がると思えます。

(レポート:磯崎 俊成さん)

## 南西支部

8月25日(火) つくばイノベーションプラザにて・zoom同時配信  
 報告者:菅原広豊さん・堀下恭平さん  
 『過去の常識に囚われない、ご縁の作り方、活かし方』



南西支部8月例会は、Hitachi Frogs代表の菅原広豊さんと、Up, Tsukuba代表の堀下恭平さんをお招きして、「過去の常識に囚われない、ご縁の作り方、活かし方」というテーマでお話をさせていただきました。それそれが生まれ育った故郷で培った体験、茨城に移り住んで感じたこと、新しいことに挑戦するきっかけ、そして今行っている活動と今後のビジョン…。

そんなお二人の体験談を聴いて私が強く感じたのは、「やり方」よりも「あり方」の大切さでした。

まずは自分から動いてみる。そしてワクワクしながら笑顔で発信し続けると、それに共感した人が自然に集まってきて、一緒に楽しみながら続けられる環境が整ってくる。

特別なノウハウを活用することよりも、まずは自らが楽しんで挑戦している姿を見せ続けることが大切だと、学ばせていただきました。

いつもの会員企業の報告とは違った例会になりましたが、参加していただいたみなさんにとって、いいご縁に繋がっていただければ幸いです。

(レポート:稲葉 佳正さん)

## 県西支部

7月15日(木) zoomにて  
 報告者:坏雄一さん 大黒家  
 『コロナが逆境の時こそ知恵を出せ そして志を食卓へ! ~コロナ禍の中での取り組み! ~』



県西8月例会は、大黒屋料理長、坏雄一さん(水戸支部)を迎え、『コロナ逆境の時こそ知恵を出せ、そして志を食卓へ!』をテーマにご報告いただきました。大黒屋は地元で長く親しまれてきた料理店。やはりコロナ禍の影響を被ることとなったそうです。そんな状況下でも怯むことなく、坏さんは動きました。来店客がいなけりや仕事はない。だからしょうがないではなく、だったら何をしようかと発想を変え、これまでに培った地域の絆、そして同友会の学びをもって果敢に挑み尽くしてきたのです。このような事態はまたく次の危機を想定してのBCPの作成、お客さんが来なけりやこっちらからお客さんのもとへ出向いて出張販売店をオープン、そのほかにもいろいろと…。

そしてまた感銘したのが、報告者本人が参加した数々の例会においての気づきとなった報告者語録集(筆者驚き!)坏さんは存分に同友会を活かし通していました。

(レポート:齊藤 哲生さん)

## 必ず例会には何かある。見つけてみようよ 明日のヒント!

【編集後記】会員の皆さまには会報誌作成にご協力いただきありがとうございます。緊急事態宣言発令から5カ月が経過し、新しい生活様式を日常として受け止められるようになってきました。もちろんストレスを感じる事もありますが、おうち時間が増えたことでリラックスした時間を送れています。新しい事にチャレンジしようどちよいちよい色んな事に手を出してはみましたが、結局趣味といえるほど没頭できるものには巡り合えず…。そんな私が唯一続けているのが5年日記です。娘が生まれた時に育児日記代わりにつけ始めたのがきっかけで、今や3冊目。書いたり書かなかったり、あまり気にせず細々と続けています。「TDL激混み泣」|「新大久保最高!」|「オリンピック楽しみ♪」そんなことを書いていた去年や一昨年の生活と今ではこんなにも変わってしまったのかと、読み返すたびに愕然としますが、それでも着実にページはめくられ、一日一日が過ぎていき…せめて日記には明るく前向きな言葉を羅列し、ありがたい未来を想像しながら一日の足跡を残すようにしています。ちなみに3年前の今日、私はJAXAで宇宙にいける日を夢見していました(\*ω\*)

